

日本 LCA 学会研究発表会 要旨作成要項

Instructions for Preparing the Proceeding on the ILCAJ Annual Meeting

○環境太郎*¹⁾、評価花子²⁾

Taro Kankyo, Hanako Hyoka

1) 持続可能性大学, 2) LCA 研究所

* environmentaro@snnt.or.jp

1. 投稿について

すべての発表について要旨原稿の投稿が必要です。発表要旨原稿は、研究発表会ウェブサイトから雛形 (template.doc) をダウンロードして作成してください。参加者には要旨原稿は電子媒体で配布されます。要旨原稿のうち本文は必ず2ページで完結するように作成して下さい。3 ページ目以降には参考情報 (Supporting Information: SI) を含めることができます。なお、ダブルエントリーの場合は、一つの要旨原稿の投稿となります。

要旨原稿を申込者が一つの PDF ファイルに変換し、演題登録システムからアップロードしてください。また、PDF ファイル作成時にはフォントを埋め込み、セキュリティを設定しないでください。PDF ファイルは最大 3 MB までです。

PDF ファイルの作成方法によっては、要旨中の図表が不明瞭になることがあります。アップロードする前に作成した PDF ファイルを画面上に表示、できれば印刷し、図表が鮮明であるかどうか確認してください。

講演要旨投稿期間は、下記の日本 LCA 学会研究発表会ウェブサイトよりご確認ください。

<http://ilcaj.snnt.or.jp/meeting/>

2. 執筆要領

2.1 ページ設定

ページ設定は以下のように指定してください。

用紙 : 要旨本文 A4 縦 2 枚 / 参考情報(SI) A4 縦
余白 : 上 20 mm / 下 20 mm / 左 20 mm / 右 20 mm
文字数と行数 : 段数 2 段 / 文字数 24 文字 / 行数 48 行
余白は絶対に変更しないでください。ページ番号は通し番号を入れるので挿入しないでください。なお、講演番号を挿入するので、ヘッター、フッターには何も記入しないでください。ページ番号は要旨本文となる最初の 2 ページのみ付与し、3 ページ以降の SI には記載しません。

2.2 フォント

以下に各フォントについて“日本語 / 英数字”の形で示します。

標準のフォント : MS 明朝 10 pt / Times 10 pt
日本語タイトル : MS ゴシック 14 pt / Arial 14 pt
英語タイトル : / Arial 12 pt
日本語著者名 : MS 明朝 10 pt / Times 10 pt
英語著者名 : / Times 10 pt
見出し : MS ゴシック 10 pt / Arial 10 pt
図表のキャプション :
MS ゴシック 10pt / Arial 10 pt

2.3 著者名、所属および代表者連絡先

登壇者の前には○を付け、共著者全員の名前を表記してください。また日本語著者名の右肩に¹⁾のように通し番号を付けて所属 (所属名は可能な限り簡潔に記述願います) を表記してください。その下に、登壇者の連絡先となる E-mail アドレスを表記してください。登壇者名の後に*を付けてください。

2.4 章立て

本文中の区分は、大見出し、中見出し、小見出しなどを明瞭にしてください。大見出しの前は 1 行空けて書き始めます。この雛形のファイルでは、見出し 1、見出し 2、見出し 3 の書式を設定してください。

[例] 1.・・・、1.1・・・、1.2・・・、1.2.1・・・、1.2.2・・・など。その後の細分については、(1)・・・、(2)・・・のようにしますが、過度の細分化は避けて下さい。

2.5 図表の書き方

図および表は日本語、英文のいずれかで作成し、それぞれ通し番号を付け、要旨内に貼り込んでください。図と写真は区別することなく図または Figure として統一し、表は表または Table とします。また、キャプションは、図/Figure の場合にはその下に、表/Table の場合にはその上に記載してください。

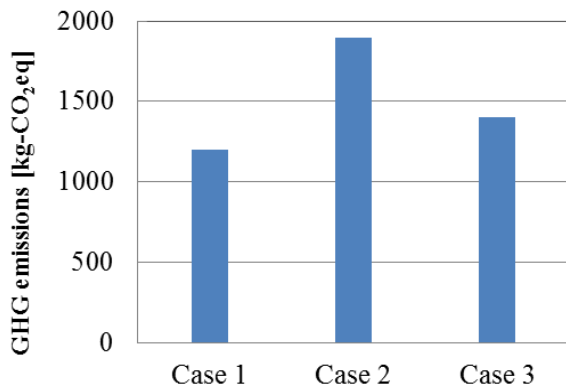


図1 温室効果ガス排出量

表1 キャプション

	排出量 [kg/kg]
CO ₂	1.5
NO _x	0.1
SO _x	0.08

2.6 引用文献

文献は本文中に引用したもののみについて記してください。引用文献の本文中での引用は引用箇所の肩に^{1,2)}や³⁻⁵⁾のように通し番号を付けて示し、本文の末尾にまとめて引用番号順に記載します。

雑誌については、スペースの関係より日本 LCA 学会誌執筆要領と異なり、和文の場合は日本語とし、欧文の場合は英文としてください。引用ページは最初と終わりの両方を記入してください。

① 雑誌

著者名(全員): 雑誌名(略記にて可), 巻(号), (発行年), pp.頁-頁

〔例1〕 Matsuno Y., Betz M.: Int. J. LCA, 5 (5), (2000), pp.295-305

〔例2〕 松野泰也, 稲葉敦, Micheal Betz, Manfred Schuckert: 日本エネルギー学会誌, 5 (5), (2000), pp.295-305

〔例3〕 松野泰也ほか: 日本エネルギー学会誌, 5 (5), (2000), pp.295-305

② 書籍

著者または編者名, “書名”, 出版元の名前, 出版元所在地, (発行年), pp.頁-頁

〔例〕 日本鉄鋼協会編, “第3版鉄鋼便覧Ⅲ”, 丸善, 東京, (1980), p.800

③ 学会講演要旨

著者名: “学会名”, 開催地, (開催年), pp.頁-頁

〔例〕 Matsuhashi, K., Moriguchi, Y.: Proc. 3rd. Int. Conf. EcoBalance, Tsukuba, (1998), pp. 303-306

④ 報告書

著者名: “報告書名”, (発行年), pp.頁-頁

〔例〕 社団法人環境情報科学センター: “製品相互の環境負荷を比較評価するための LCA 手法調査報告書”, (2004)

⑤ Web サイト

著者名: “Web ページの題名”, Web サイトの名称, (媒体表示), 入手先 <URL>, (参照日付)

〔例〕 齊藤彬夫: “DME (ジメチルエーテル) 燃料普及のための提言”, 日本機械学会, (オンライン), 入手先 <<http://www.jsme.or.jp/teigb01.htm>>, (参照 2004-10-24)

3. 参考情報 (Supporting Information) について

3 ページ目以降には参考情報を任意のページ数追加することができます。要旨本文は2ページで完結させてください。

参考情報については、2.1 ページ設定で指定した余白を守っていただければ、書式は自由です。PDF ファイルの容量制限 (3 MB) を超えないように注意してください。また、SI を要旨本文と別のファイルにすることはできませんので、必ず要旨本文と SI をまとめて一つの PDF ファイルにしてください。なお、2 ページの要旨の中に SI があることを記述するようにしてください。例えば、要旨に「式(1)から式(2)への展開、変数の説明については SI を参照」、「図 S1 と図 S2 に示すように」、「計算に用いた詳細なデータは表 S1 に記す」のように記述してください。

4. 最後に

プログラム編成は、実行委員会に一任してください。プログラムは、会誌の会告や、研究発表会ウェブサイトに掲載しますので、ご確認下さい。

不明な点は、該当年度の日本 LCA 学会研究発表会実行委員会宛にメールでお問い合わせください。

引用文献

1) Matsuno Y., Betz M.: Int. J. LCA, 5 (5), (2000), pp 295-305

2) 松野泰也, 稲葉敦, Micheal Betz, Manfred Schuckert: 日本エネルギー学会誌, 5 (5), (2000), pp 295-305

Supporting Information

SI の書式は自由です。

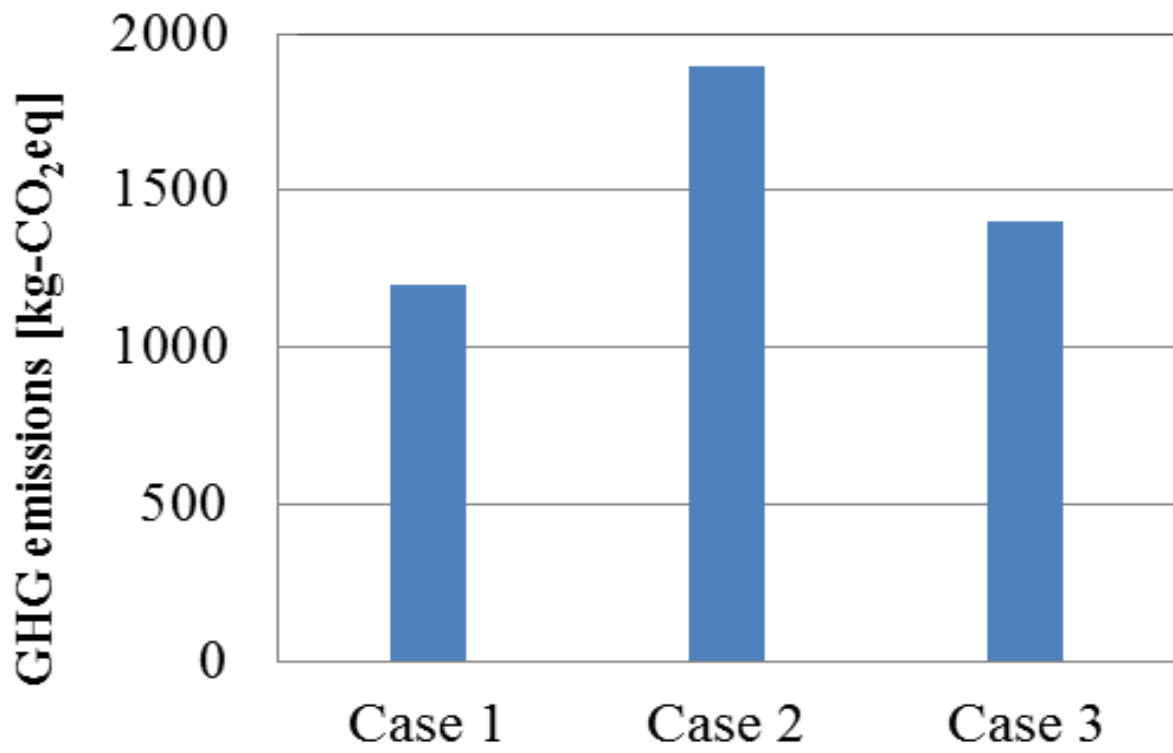


図 S1 温室効果ガス排出量